

ほたる

市木まちづくりセンターだより E-mail : ichigi-k@ph-hamada.jp

編集・発行
市木まちづくりセンター
ふる里市木
〒697-0514
島根県浜田市旭町市木
2919-2
電話&FAX
0855-47-0077



5月 行事予定

- 5日(日) 定例会
- 6日(月) 市木生活改善センター清掃日（内ヶ原地区）
- 14日(火) 来尾サロン
ラ・ブック号 10:00~11:30
- 21日(火) 市木サロン
地域井戸端会 18:30~



市木地区人口 (3月末現在)

地区	世帯数	男	女	計	高齢化率
来尾	19	15	10	25	76%
市木	95	82	101	183	58.47%
総計	114	97	111	208	60.58%

◆毎週月曜日午前中
敬老福祉乗車券販売日・証明書発行日
(住民票 印鑑証明 所得課税証明)

ふる里市木総会

令和6年度ふる里市役員紹介

会長（総務企画部長）
 副会長（ふれあい交流部会長）
 副会長（自主防災部会長）
 副会長（保健福祉部会長）
 副会長（保健福祉副部会長）

尾崎 小田 尾崎 尾崎 向井 寺田 篠原 青葉 市川 徳川
 博徳 勉 信吾 満樹 直美 秀信 美久利 博志 清志

4月14日（日）令和6年度ふる里市木通常総会が開催されました。議事では、令和5年度の事業・決算報告がなされ、続いて令和6年度の事業計画・収支予算について審議され、いずれも承認されました。

本年もほたる祭りを開催することになりました。

前年度の役員の皆様、これまでご尽力いただきありがとうございました。

今後の事業について、皆様のご協力、ご参加をお願いいたします。



地域環境美化活動

4月7日（日）地域環境美化活動が各地区で行われました。各地区で決められた時間に行われ、多くの不燃ごみや可燃ごみが集められ、きれいになりました。

皆さん、朝早くからお疲れ様でした。

こんなことは、令和6年4月より、市木まちづくりセンター長を勤めることになりました。向井満樹です。よろしくお願いします。

苦手な挨拶は省いて、今後目指すセンター像を記述します。

ひと言でいうと「新しい種時き」をしてみます。川遊びとか、竹灯籠とか、大人の食堂とか、思いついた事や地元の人からのリクエストなど、何でも少人数でも取り組みたいですし。どうぞ声を掛けて下さい。

また、センターもお菓子や飲み物を用意していますので、お気軽に立ち寄りください！



今年度も皆さま方の「意見」「協力をよろしくお願ひいたします。」

尾崎センター長、これまで地域のために長年ご尽力いただき、ありがとうございました。

新任「あいさつ

辰年会が行われました



3月31日(日)本年の干支である市木地区の辰年生まれの方々が、市木神社において無病息災を祈念し、お祓いを受けました。この日は、13名の方々が参加されました。辰年会は、48歳になる年の人世話役をするとのことでした。この辰年会を行い始めて、今年で7回目くらいになるようです。

春季ゲートボール大会



4月4日(木)市木ふれあい広場において春季ゲートボール大会が開催されました。旭町内から3チームが集まり、総当たり戦で行われました。小雨が降り、あいにくの天気でしたが、ゲートボールを楽しみ、親睦を深めておられました。

旭中学校・旭小学校入学式

4月9日(火)旭小学校・旭中学校の入学式が執り行われました。旭小は13名、旭中は17名の児童、生徒が入学されました。



市木地区からは、池田祐二さん・里菜さんご夫妻の長男、創祐さん(越木)が市木小学校(邑南町)へ、向井樹さん・絢子さんご夫妻の長女、愛莉さん(中郡)が矢上小学校(邑南町)へ入学されました。ご入学おめでとうございます!

**大切に
一人ひとりの
いい個性**

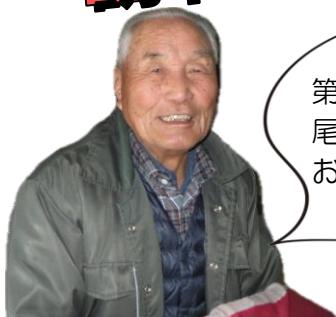
クロツカス　田覚めの頃に　思わぬに
降り敷く春の　雪の寒さよ
嘶家の　懐かし姿　あの語り
　　気付けば吾の　顔緩みがち
　　総会を　拍手で終えて　皆笑顔
　　ブーチンお前も　市木に倣え
　　誰にでも　役目があると　伝えて聞く
　　たんぽぽ君は？　桜よ僕は？
　　さくら咲き　巣立ちを始めた　孫娘
　　悔いなきように　学んでおいで
　　春しぐれ　夫の残した　作業場の
　　屋根、壁、廃棄し　感慨無量なり
　　時はめぐり　みんなで祝う　辰の年
　　草取りて　疲れを知らじと　眠りつく
　　さくら散る　散る花惜しみ　手を伸ばす
　　消えてゆく　その風景を　いつまでも　大賀勇久史
　　さくら散る　散る花惜しみ　手を伸ばす

中間　和枝
向井　満樹
　　ちえみ
　　さくら咲き　巣立ちを始めた　孫娘
　　悔いなきように　学んでおいで
　　春しぐれ　夫の残した　作業場の
　　屋根、壁、廃棄し　感慨無量なり
　　時はめぐり　みんなで祝う　辰の年
　　草取りて　疲れを知らじと　眠りつく
　　さくら散る　散る花惜しみ　手を伸ばす
　　消えてゆく　その風景を　いつまでも　大賀勇久史

短歌俳句



懐かしきあの頃 訪ね聞いてみた！



第1回目の登場者は、尾崎正紀さん（来尾）にお願いしました。

家の屋号「沖広」は、家の前からの眺めが大変広々とした環境であることから名付けられました。

★幼年期の思い出は？★

昭和21年の秋、都川の花子商店の親族が戦闘機で帰還し、来尾神社の上方の広場へ見に行った。

★青年期の思い出は？★

家族や親戚の協力で炭窯を作ってもらい、炭焼きで独立。炭の販売、運搬のため、トラックで広島方面に出向く際、助手席に七輪を持ち込んで暖をとった。

★壮年期からの思い出は？★

地元一筋で就職、結婚、子育てを終え、現在に至る。

誰にでもある平凡な人生談話ですが、皆が共感でき、皆さんのが過去にさかのぼれるきっかけとなれば幸いです。

お礼

関東あさひ会会长、花本金吾様より、ふる里市木に御寄付を頂きました。貴重な資金として有効に活用させて頂きます。

ありがとうございました。

ふる里市木会長 徳川 博

お礼

埼玉県在住、小林香織様よりお土産を頂きました。有効に活用させて頂きます。

ありがとうございました。

ふる里市木会長 徳川 博

桜ライトアップ



4月4日(木)～4月11日(木)まで市木ふれあい広場の桜が、毎晩ライトアップされました。

とてもきれいな夜桜でした。